

平成14年度 第2回
発注企業動向調査
結果報告書

平成14年11月
財団法人京都産業21

調査結果の概要

売上げについて

○売上状況について

前回調査と比較して、「増加」が 37.3%と 17.3 ポイント増加する一方で、「減少」が 30.7%で 8.1 ポイント減少しており、増加傾向が見られる。

○今後の売上の見通しについて

平成 14 年度下期においては「増加」と見通すものが 32.0%で「減少」(20.0%)を上回っており、平成 15 年度上期においても、「増加」が 25.3%で「減少」(10.7%)を上回っているものの、先行き足踏み傾向がうかがわれる。

外注について

○外注利用状況について

前回調査と比較して、「増加」が 28.0%で 10.4 ポイント増加し、「減少」が 40.0%で 5.9 ポイント減少しており、増加傾向が見られるものの、「減少」が 4 割を占めており、依然として厳しい状況も見られる。

○今後の外注見通しについて

平成 14 年度下期においては「減少」と見通すものが 26.7%で「増加」(24.0%)を上回っており、平成 15 年度上期においては、さらに「増加」が減少する傾向にあり、先行き厳しい状況がうかがえる結果となっている。

○年間の総外注費及び京都府内の割合について

全体では、2 割余りが京都府内の企業に外注されており、業種別では、一般機器 (48.7%)、精密機器 (33.6%) が 3 割以上を京都府内に外注している。輸送用機器は 1 割余りとなっている。

○外注企業に望む能力について (品質)

「要求どおりの加工精度」との回答が 28.5%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が 19.2%、「工程管理の強化」が 14.0%、「検査体制の強化」14.0%、「VE/VA 提案も含めた体制強化」が 12.6%となっており、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定のための検査体制、工程管理の強化を求めているようである。

○外注企業に望む能力について（コスト）

「市場価格への対応」との回答が 22.6%と最も多く、次いで「発注内容に応じたコスト対応」が 21.6%、「VE/VA 提案によるコスト提案」が 16.3%となっている。

市場価格が一段と低下する中で、発注企業のコスト意識が厳しくなっており、外注企業には厳しいコスト対応が要求されるとともに、コスト低減のための提案も期待されているようである。

○外注企業に望む能力について（納期）

「状況に応じた柔軟な納期対応」が 45.0%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」が 29.2%で、「納期管理、在庫管理能力」が 19.2%となっている。外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

○新規外注先企業の情報収集について

「下請企業からの営業活動」との回答が 31.3%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が 15.0%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信（企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む）が重要であることがうかがえる。

○新規外注先企業の開拓について

新規外注先を「探していない」とする企業(66.7%)が大半を占めている。

業種別では、「将来的に探している」ものを含めて、電気機器では4割以上の企業が新規外注先をさがしているものの、輸送用機器では、「探している」とする企業は見られない。

1. 調査概要について

(1) 調査目的 財団に登録する発注企業の動向を把握し、情報として提供することで、府内の下請企業の経営計画策定の一助とするとともに、より効果的な受注活動等の促進を図り、併せて財団における取引あっせん業務の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業 財団に登録する機械金属関連発注企業 143 社

(3) 調査時期 平成14年9月末現在 ＊調査回収締切:11月6日

(4) 調査回収企業数 75 社 (回収率: 52.4 %)

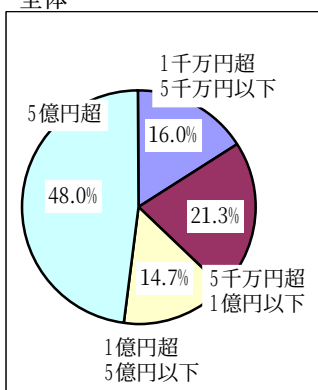
内訳 金属製品 13社 (17.3%) 一般機器 24社 (32.0%) 電気機器 16社 (21.3%)
輸送用機器 9社 (12.0%) 精密機器 13社 (17.3%)

【業種別資本金別回収企業数】

※上段:企業数、下段:比率割合

	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
1千万円超	12	2	7	0	0	3
5千万円以下	16.0%	15.4%	29.2%	0.0%	0.0%	23.1%
5千万円超	16	2	4	4	1	5
1億円以下	21.3%	15.4%	16.7%	25.0%	11.1%	38.5%
1億円超	11	1	6	1	2	1
5億円以下	14.7%	7.7%	25.0%	6.3%	22.2%	7.7%
5億円超	36	8	7	11	6	4
	48.0%	61.5%	29.2%	68.8%	66.7%	30.8%
合計	75	13	24	16	9	13
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【業種別資本金別回収企業数 全体

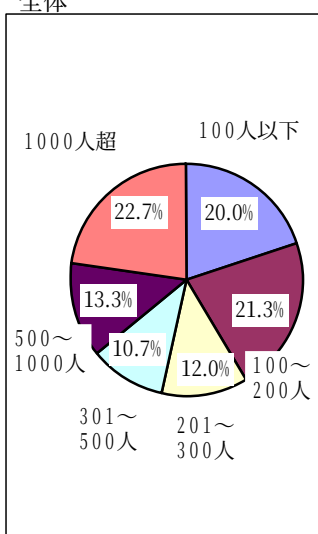


【業種別従業員別回収企業数】

※上段:企業数、下段:比率割合

	全体	金属製品	一般機械	電気機器	輸送用機器	精密機器
100人以下	15	3	9	1	0	2
	20.0%	23.1%	37.5%	6.3%	0.0%	15.4%
101～200人	16	3	7	1	2	3
	21.3%	23.1%	29.2%	6.3%	22.2%	23.1%
201～300人	9	1	2	3	2	1
	12.0%	7.7%	8.3%	18.8%	22.2%	7.7%
301～500人	8	3	1	1	0	3
	10.7%	23.1%	4.2%	6.3%	0.0%	23.1%
501～1000人	10	2	4	0	2	2
	13.3%	15.4%	16.7%	0.0%	22.2%	15.4%
1000人超	17	1	1	10	3	2
	22.7%	7.7%	4.2%	62.5%	33.3%	15.4%
合計	75	13	24	16	9	13
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

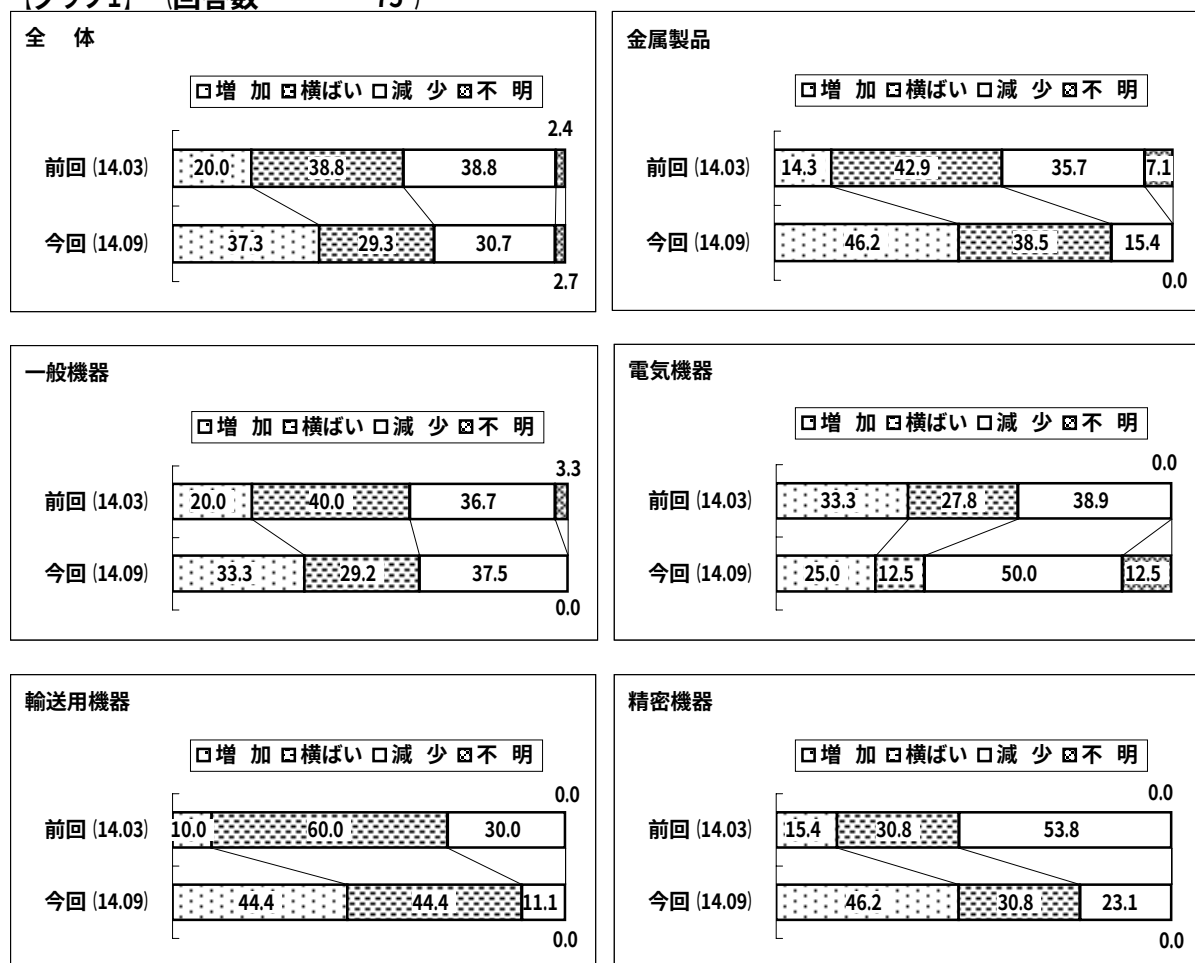
【業種別従業員別回収企業数 全体



2. 売上について

(1) 平成14年度「上期」(14.04～14.09)と平成13年度「下期」(13.10～14.03)の売上額の比較

【グラフ1】 (回答数 75)



*業種別回答数

14年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	28	6	8	4	4	6
横ばい	22	5	7	2	4	4
減 少	23	2	9	8	1	3
不 明	2	0	0	2	0	0
合 計	75	13	24	16	9	13

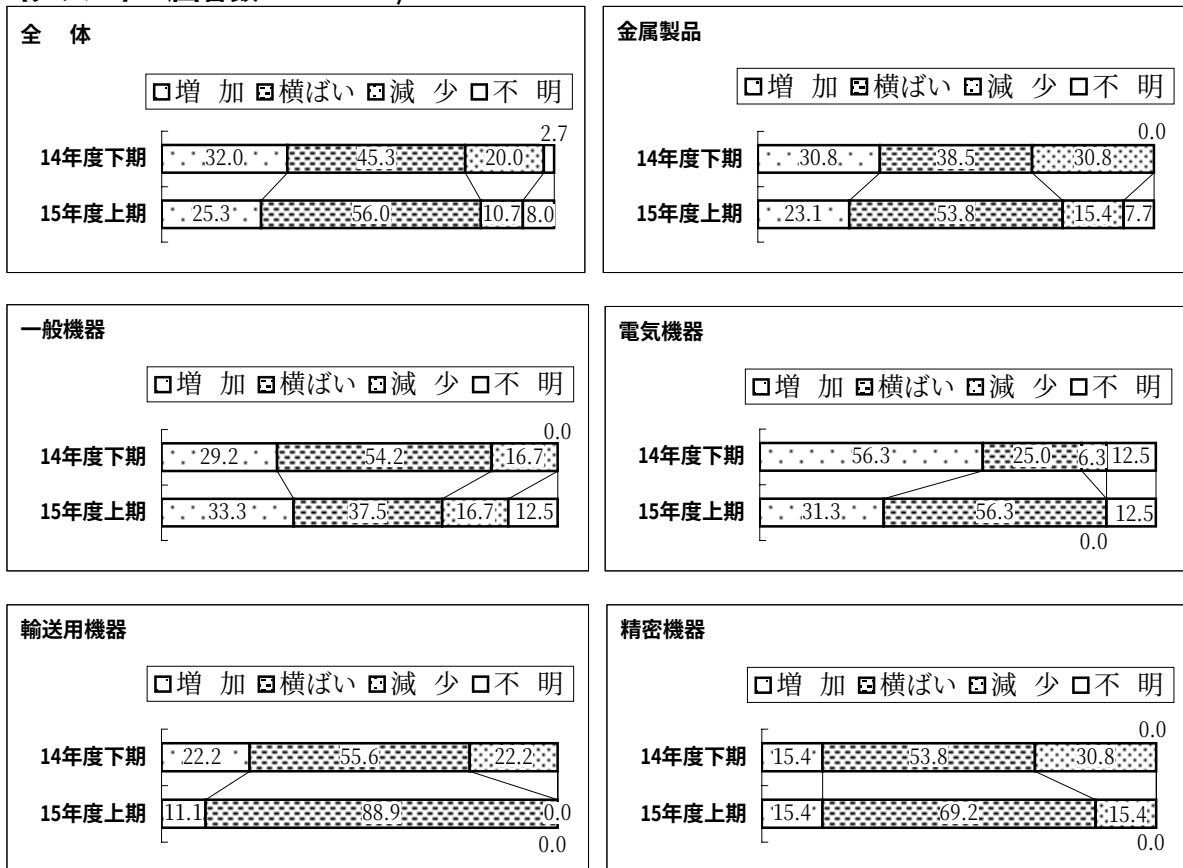
【売上状況の比較について】

全体では、前回調査と比較して、「増加」が37.3%と17.3ポイント増加する一方で、「減少」が30.7%で8.1ポイント減少しており、増加傾向が見られる。

業種別に見ると、電気機器を除く全業種で増加傾向が見られる。

(2) 14年度の「下期」(14.10～15.03)及び15年度「上期」(15.04～15.09)の売上の見通し

【グラフ2】 (回答数 75)



＊業種別回答数

14年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	24	4	7	9	2	2
横ばい	34	5	13	4	5	7
減 少	15	4	4	1	2	4
不 明	2	0	0	2	0	0
合計	75	13	24	16	9	13

＊業種別回答数

15年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	19	3	8	5	1	2
横ばい	42	7	9	9	8	9
減 少	8	2	4	0	0	2
不 明	6	1	3	2	0	0
合計	75	13	24	16	9	13

【売上の見通しについて】

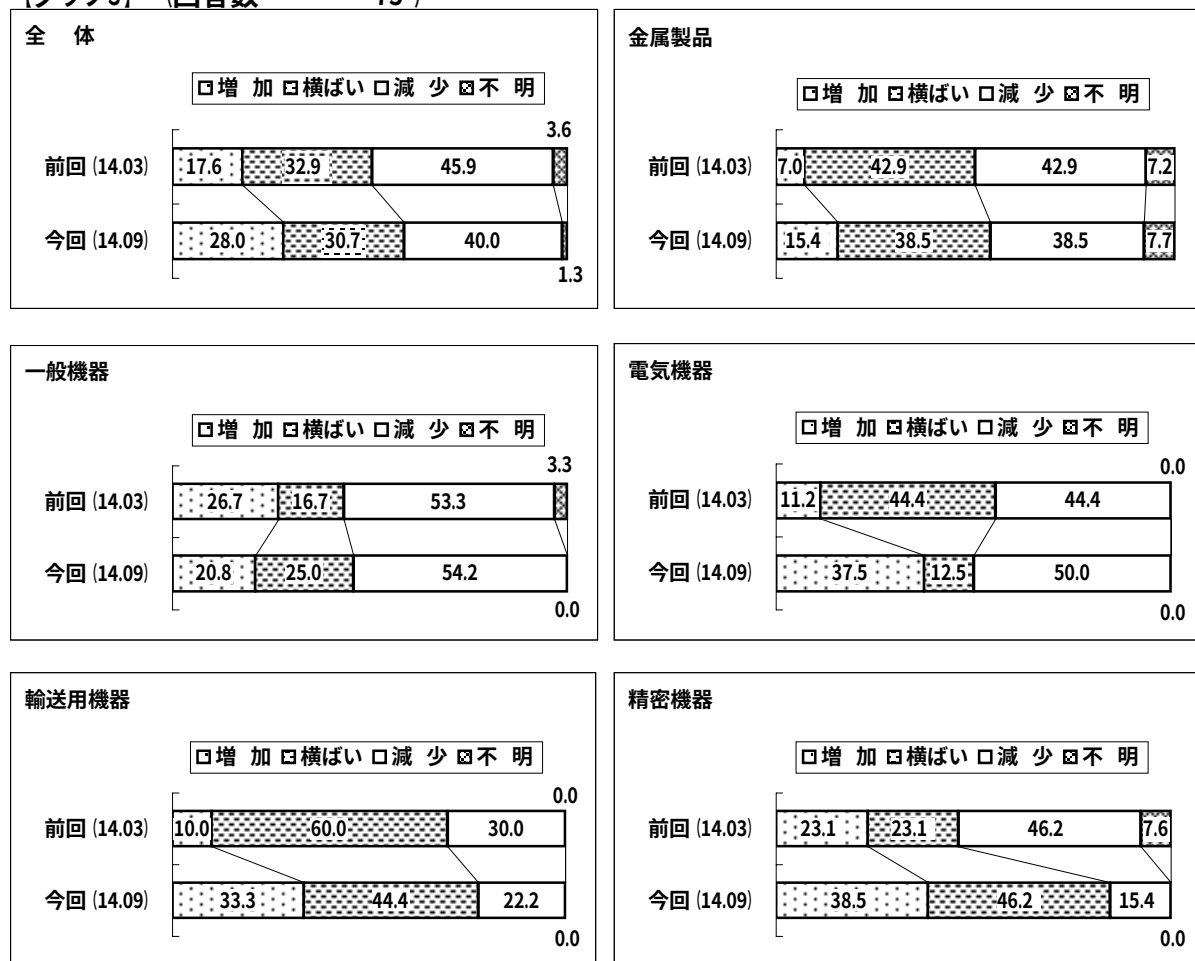
全体では、平成14年度下期においては「増加」と見通すものが32.0%で「減少」(20.0%)を上回っており、平成15年度上期においても、「増加」が25.3%で「減少」(10.7%)を上回っているものの、先行き足踏み傾向がうかがわれる。

業種別では、一般機器で増加傾向が見られるものの、それ以外の業種では頭打ちとなっている。

3. 外注について

(1) 平成14年度「上期」(14.04～14.09)と平成13年度「下期」(13.10～14.03)の外注額の比較

【グラフ3】 (回答数 75)



＊業種別回答数

14年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	21	2	5	6	3	5
横ばい	23	5	6	2	4	6
減 少	30	5	13	8	2	2
不 明	1	1	0	0	0	0
合 計	75	13	24	16	9	13

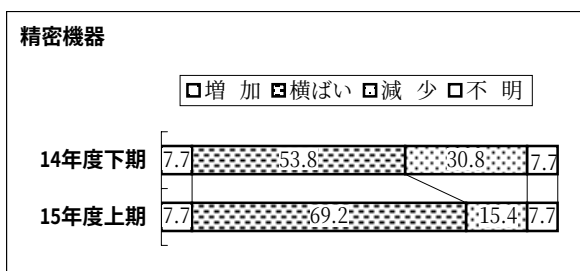
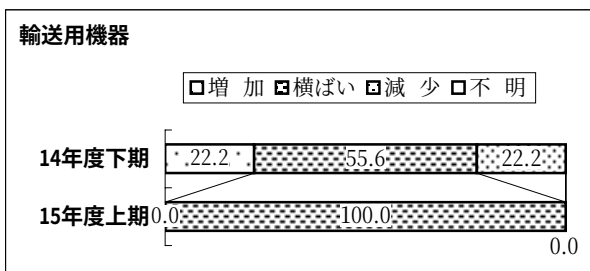
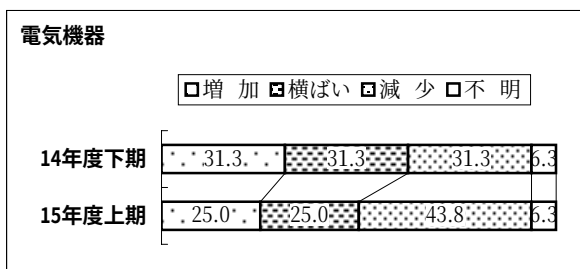
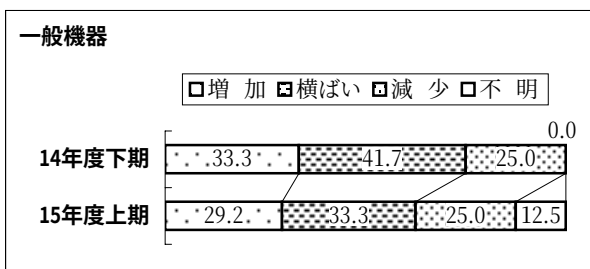
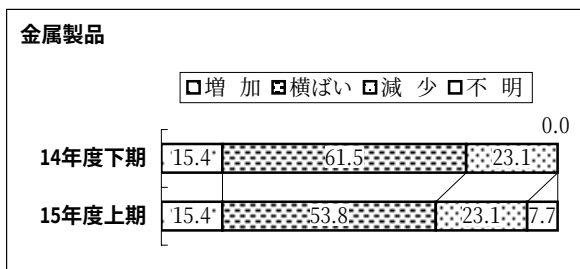
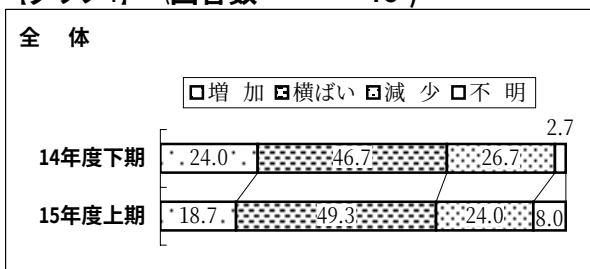
【外注額の比較について】

全体では、前回調査と比較して、「増加」が28.0%で10.4ポイント増加し、「減少」が40.0%で5.9ポイント減少しており、増加傾向が見られるものの、「減少」が4割を占めており、依然として厳しい状況も見られる。

業種別では、依然として厳しい見通しとなっている中、輸送用機器、精密機器の先行き回復傾向がうかがわれる結果となっている。

(2) 14年度の「下期」(14.10～15.03)及び15年度「上期」(15.04～15.09)の外注の見通し

[グラフ4] (回答数 75)



*業種別回答数

14年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	18	2	8	5	2	1
横ばい	35	8	10	5	5	7
減 少	20	3	6	5	2	4
不 明	2	0	0	1	0	1
合 計	75	13	24	16	9	13

*業種別回答数

15年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	14	2	7	4	0	1
横ばい	37	7	8	4	9	9
減 少	18	3	6	7	0	2
不 明	6	1	3	1	0	1
合 計	75	13	24	16	9	13

[外注の見通しについて]

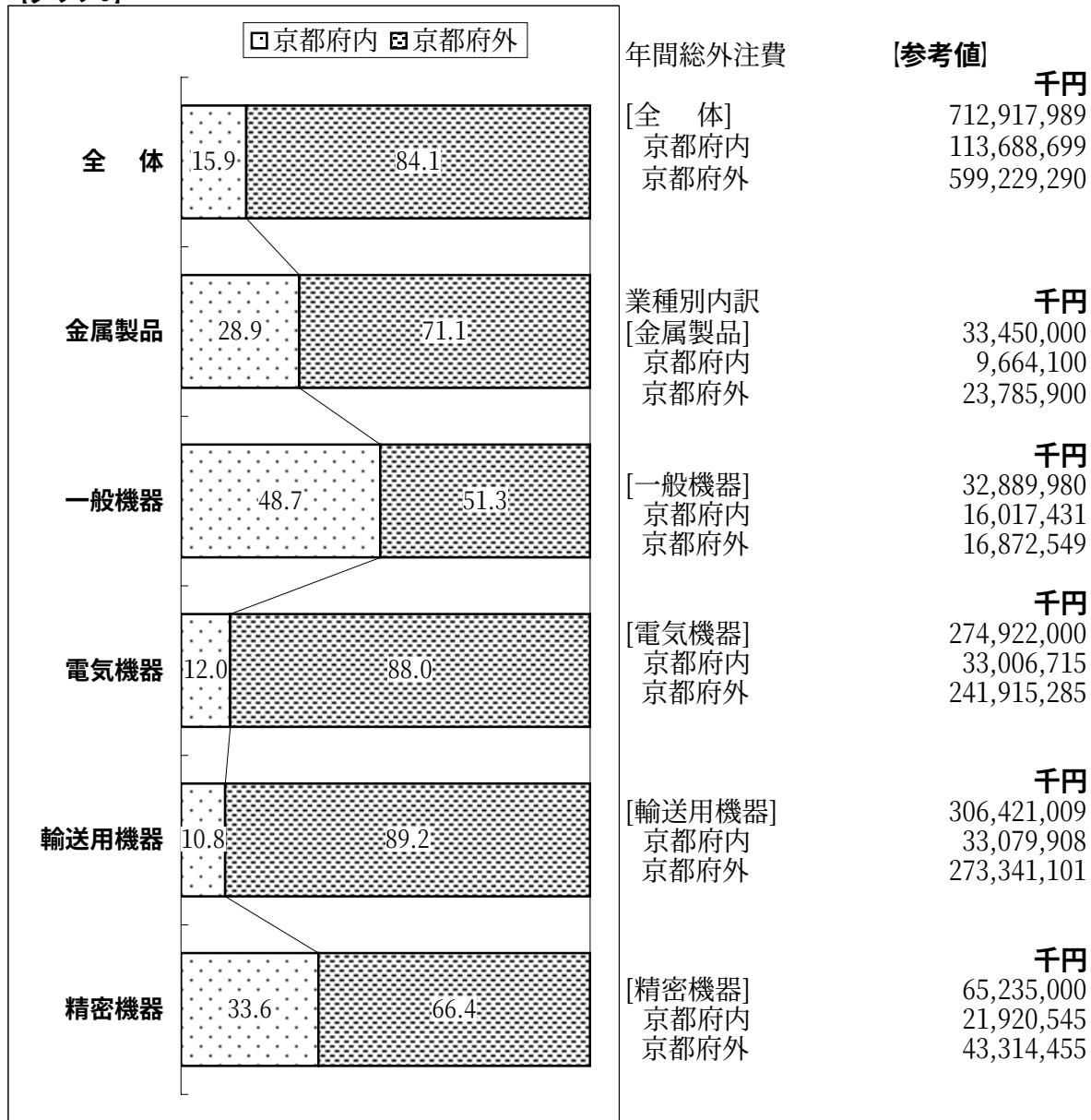
全体では、平成14年度下期においては「減少」と見通すものが26.7%で「増加」(24.0%)を上回っており、平成15年度上期においては、さらに「増加」が減少する傾向にあり、先行き厳しい状況がうかがえる結果となっている。

業種別では、一般機器で増加傾向が見られるものの、それ以外の業種については先行き厳しい結果となっている。

(3) 14年度の総外注費及び京都府内の企業の割合について

＊本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

【グラフ5】



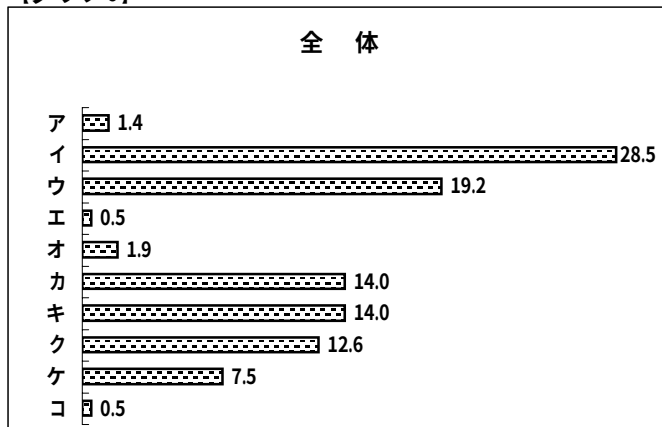
【年間の総外注費及び京都府内の割合について】

全体では、2割余りが京都府内の企業に外注されており、業種別では、一般機器 (48.7%)、精密機器 (33.6%) が3割以上を京都府内に外注している。輸送用機器は1割余りとなっている。

なお、本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

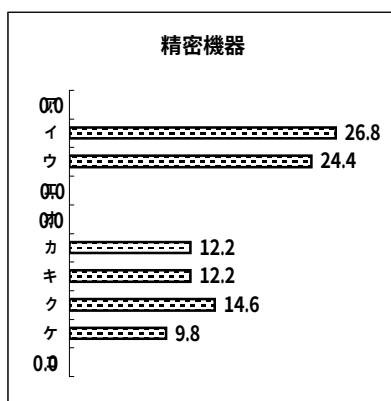
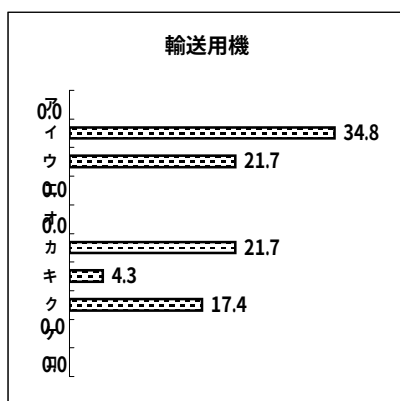
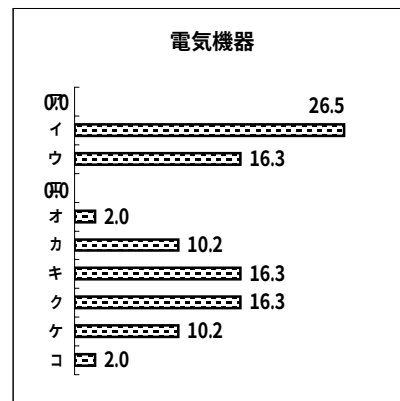
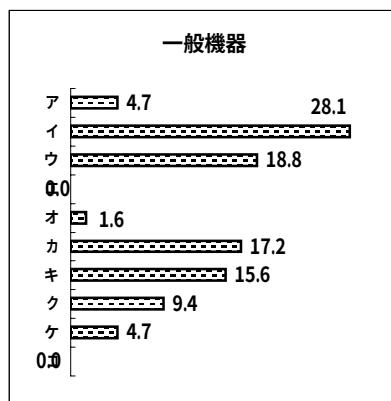
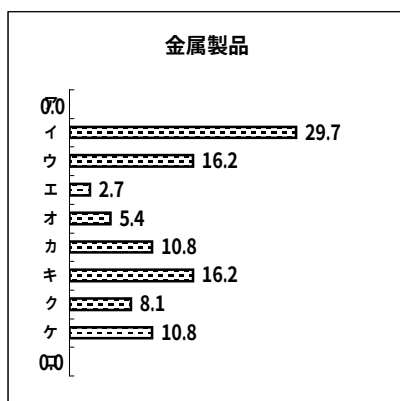
(4) 外注企業に望む能力について

①品質について外注企業に望むこと 【グラフ6】



＊重複回答 (回計数 214)

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の加工精度	3
イ. 要求どおりの加工精度	61
ウ. バラツキの無い品質安定度	41
エ. 新鋭設備の導入	1
オ. 職人 (技術者) の育成	4
カ. 工程管理の強化	30
キ. 検査体制の強化	30
ク. VE/VA提案も含めた体制強化	27
ケ. ISOなどの要求	16
コ. その他	1



＊業種別回答数

機械製品	37
一般機器	64
電気機器	49
輸送用機器	23
精密機器	41
計	214

【品質について】

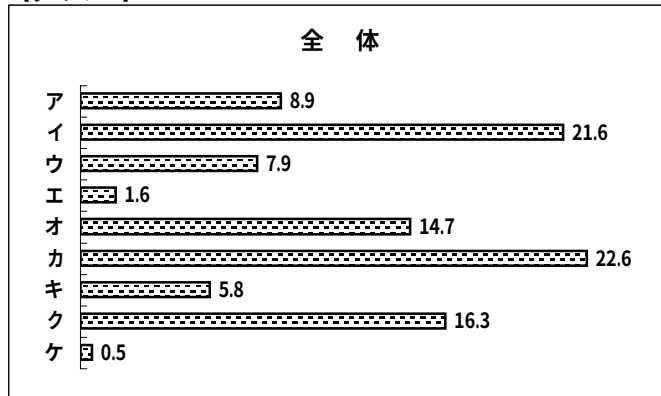
「要求どおりの加工精度」との回答が28.5%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が19.2%、「工程管理の強化」が14.0%、「検査体制の強化」14.0%、「VE/VA提案も含めた体制強化」が12.6%となっており、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定のための検査体制、工程管理の強化を求めているようである。

(5) 外注企業に望む能力について

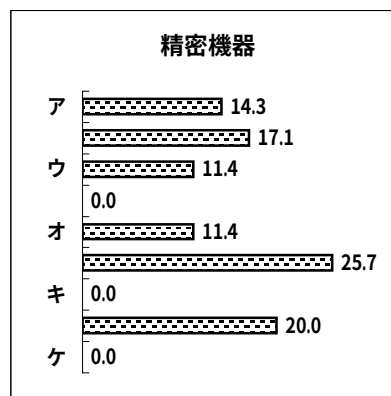
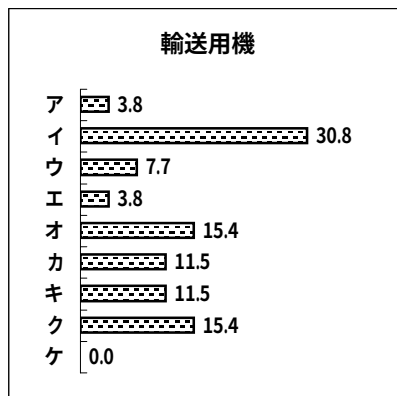
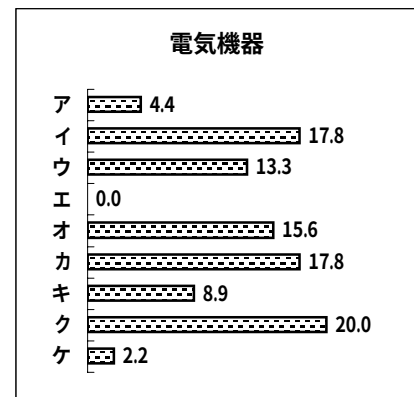
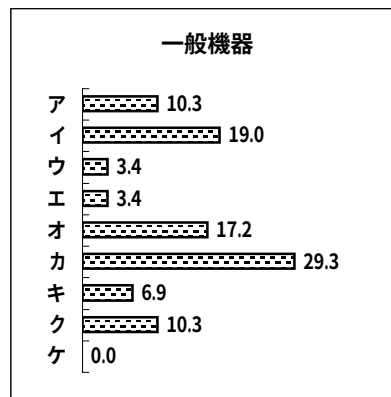
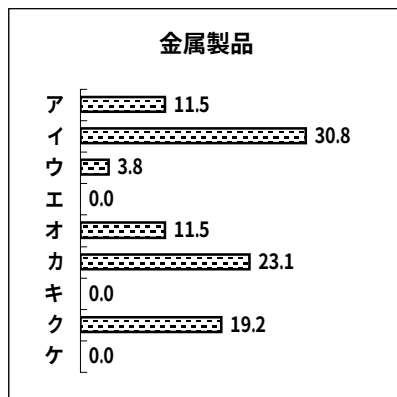
②コストについて外注企業に望むこと

【グラフ7】



*重複回答 (回答数 190)

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の低コスト対応	17
イ. 発注内容に応じたコスト対応	41
ウ. 適正な見積書作成能力	15
エ. 新鋭設備の導入によるコストダウン	3
オ. 工程管理の強化によるコストダウン	28
カ. 市場価格への対応	43
キ. 海外調達、進出等による低コスト対応	11
ク. VE/VA提案によるコスト提案	31
ケ. その他	1



*業種別回答数

機械製品	26
一般機器	58
電気機器	45
輸送用機器	26
精密機器	35
計	190

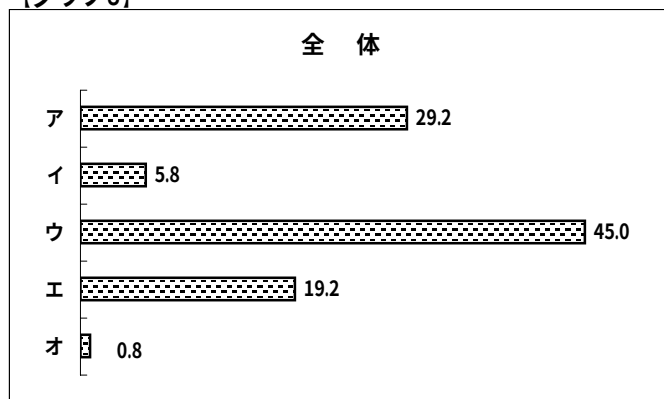
【コストについて】

「市場価格への対応」との回答が22.6%と最も多く、次いで「発注内容に応じたコスト対応」が21.6%、「VE/VA提案によるコスト提案」が16.3%となっている。

市場価格が一段と低下する中で、発注企業のコスト意識が厳しくなっており、外注企業には厳しいコスト対応が要求されるとともに、コスト低減のための提案も期待されているようである。

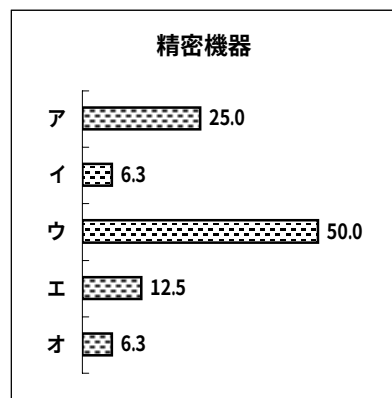
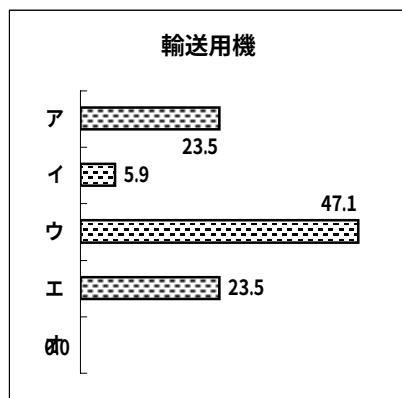
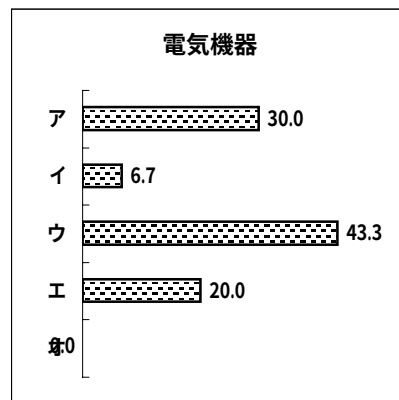
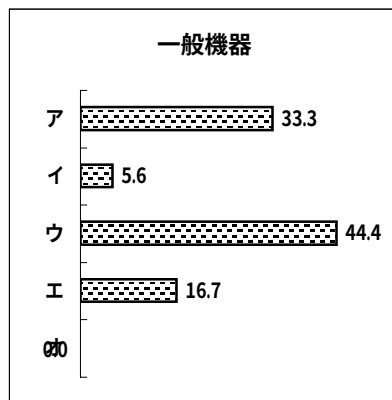
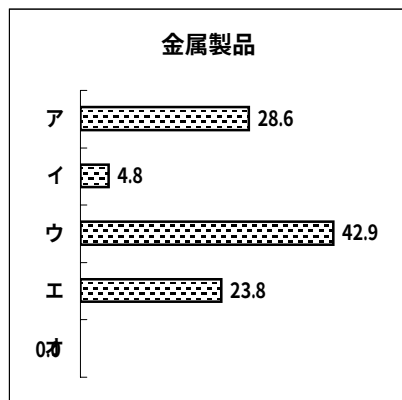
(5) 外注企業に望む能力について

③納期について外注企業に望むこと 【グラフ8】



＊重複回答 (回答数 120)

グラフの項目	回答数
ア. ジャストイン・タイムへの対応	35
イ. 在庫保有等による対応	7
ウ. 状況に応じた柔軟な納期対応	54
エ. 納期管理、在庫管理能力の強化	23
オ. その他	1



＊業種別回答数

機械製品	21
一般機器	36
電気機器	30
輸送用機器	17
精密機器	16
計	120

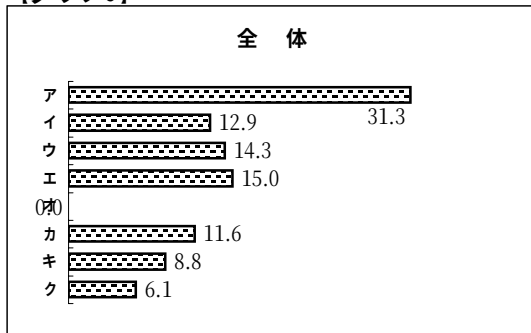
【納期について】

「状況に応じた柔軟な納期対応」が45.0%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」が29.2%で、「納期管理、在庫管理能力」が19.2%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

(6) 新規外注先企業を探す場合の情報収集の方法について

【グラフ9】



*重複回答(回答数

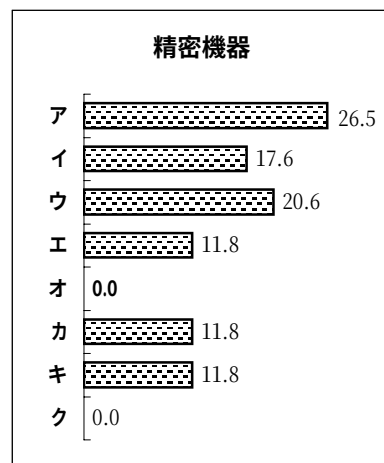
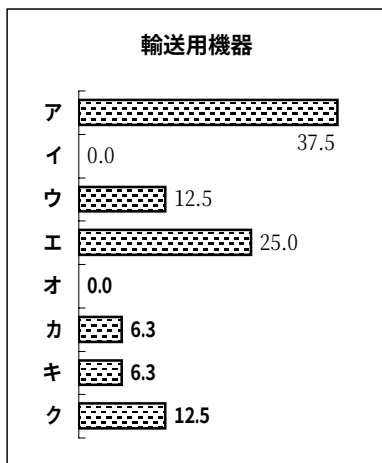
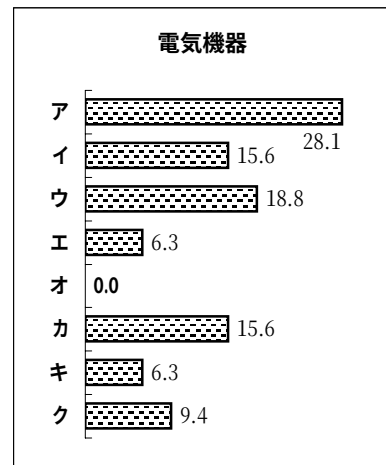
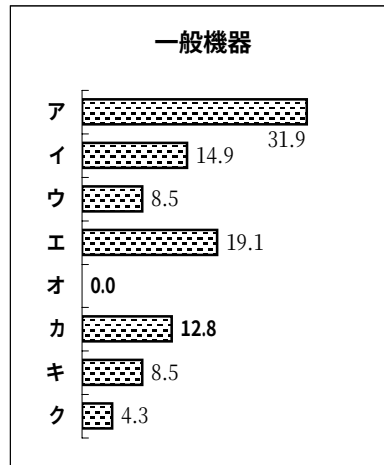
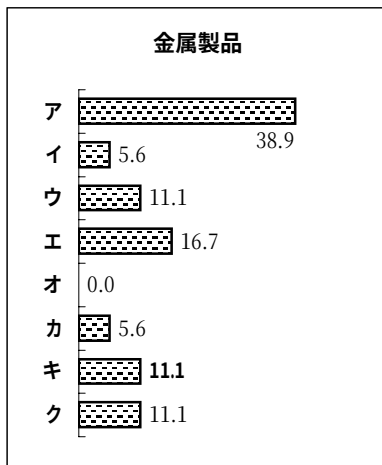
147)

グラフの項目

回答数

ア. 下請企業からの営業活動
イ. 財団(協会)からのあっせん
ウ. テクノフェア等の各種展示会見学
エ. 情報誌、企業名簿等からの情報収集
オ. 説明会を開催し、資材調達情報を公開
カ. インターネットホームページで資材調達先を公募
キ. 財団(協会)開催による商談会への参加
ク. その他

46
19
21
22
0
17
13
9



*業種別回答数

機械製品 18
一般機器 47
電気機器 32
輸送用機器 16
精密機器 34
計 147

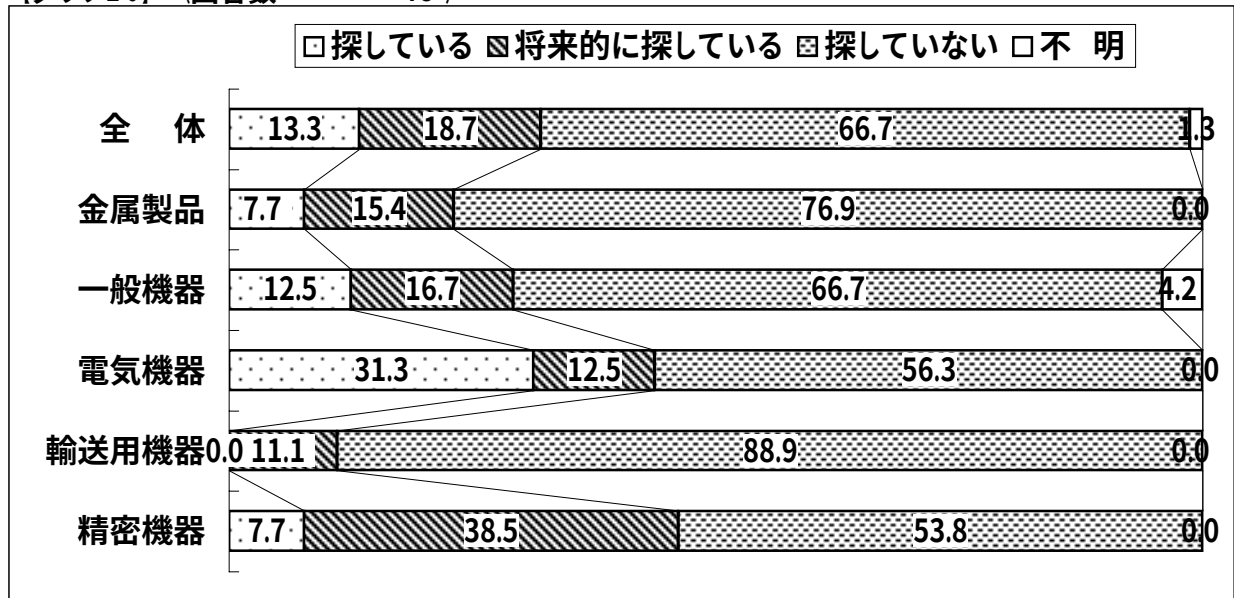
【新規外注先企業の情報収集について】

「下請企業からの営業活動」との回答が31.3%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が15.0%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信(企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む)が重要であることがうかがえる。

(7) 新規外注先企業の開拓について

【グラフ10】 (回答数 75)



＊業種別回答数

	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
探している	10	1	3	5	0	1
将来的に探している	14	2	4	2	1	5
探していない	50	10	16	9	8	7
不 明	1	0	1	0	0	0
合計	75	13	24	16	9	13

【新規外注先企業の開拓について】

新規外注先を「探していない」とする企業(66.7%)が大半を占めている。

業種別では、「将来的に探している」ものを含めて、電気機器では4割以上の企業が新規外注先をさがしているものの、輸送用機器では、「探している」とする企業は見られない。

財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町1-34 (京都府産業プラザ内)

TEL (075) 315-9234 / FAX (075) 314-4720 E-mail : kikaku@ki21.jp

[http://www ki21. jp](http://www.ki21.jp)